

自転車活用推進功績者表彰

表彰事例のご案内

2018.5.22



アンデックス株式会社

【授賞理由】

・平成21年に社内ベンチャーの1つとして自転車の開発に着手し、日本の道、日本人の体型などを考慮した上で、オリジナル・スポーツサイクル「NAGI」を開発し、販売。同社の自転車の安全性が評価され、県内のレンタサイクルや広島県警のサイクルポリス隊の自転車に採用されている。

・サイクルショップを拠点としたタイムリーな情報発信やイベント時の故障車対応などにより、しまなみ海道のおもてなしの向上やイメージアップ、利便性向上にも取り組んでいる。



英明高等学校

【授賞理由】

・自転車の交通安全や交通マナーに対する意識を高め、事故防止を図るため、「交通安全教育の推進」「校内交通安全インストラクター養成講習の開催」「通学用自転車の点検整備の実施」「生徒・教職員による街頭交通安全指導の実施」など様々な取り組みを実施。

・その結果、英明高等学校生徒が関係する自転車関係人身事故の減少のみならず、地域住民の交通安全意識の向上にも貢献。



谷垣 禎一 氏

【授賞理由】

・環境負荷の低減や国民の健康の増進に寄与する自転車の更なる活用を促すため、国の政策として法令の整備や規制の緩和、予算の確保、国民への啓蒙普及等を図るため、自転車活用推進議員連盟の結成に尽力。

・自転車活用推進議員連盟会長として、「自転車活用推進法」の制定に貢献し、自転車活用推進に向けて、政府として総合的・計画的に取り組む体制を整備。



森 兵次 氏



【授賞理由】

・沖縄県最大のスポーツバイク専門店・沖縄輪業を経営するかたわら、「ツール・ド・おきなわ」の実現に奔走。

・1989年の開催以降、参加者数は順調に推移し、現在では約5000人が参加する日本有数のサイクルイベントに成長。最近では海外からの参加者も増加し、インバウンドの誘客にも貢献。

・沖縄が「サイクリング・アイランド」と呼ばれる基礎を築いた。



ヤマハ発動機株式会社

【授賞理由】

・世界で初めて電動アシスト自転車を開発して以来、安全な電動アシスト自転車の開発・販売に努めており、それらの蓄積や社会ニーズを踏まえ、企業実証特例制度を活用しつつ、新たな規格による安全性の高いイヤカー付三輪電動アシスト自転車を開発。

・本開発により、女性や高齢者等の多様な人材確保による配達業界等における人手不足の解消に繋がる可能性が期待されている。



輪の国びわ湖推進協議会

【授賞理由】

・滋賀が誇る「びわ湖一周サイクリング（ピワイチ）」をキーとして、健康的で環境に調和した社会をつくるためのムーブメントをおこしていくため、滋賀を中心に、京都、大阪の20の団体・事業者が広域連携し、

「輪の国びわ湖」推進に向けた調査・研究事業」

「『輪の国びわ湖』Web サイトの運営事業」「『輪の国びわ湖』広報事業」

「びわ湖一周認定証の発行事業」といった多様な事業を展開している。

・webサイトの閲覧数の増加や「ピワイチ」の体験者数の増加など、観光面においては、着実な成果が見られる。



